

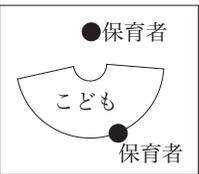
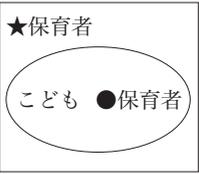
指導計画 (部分・責任)

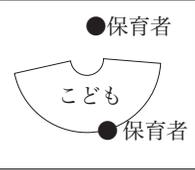
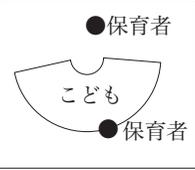
実習指導者

サインまたは㊟

実習生氏名

サインまたは㊟

| | | | | |
|----------------------|---|---|--|--|
| 20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△) | | 場 所 | 遊戯室、ホールなど | |
| 主な活動 (題材) | 「3色のしっぽとり」(1/3回目) | | 実習 クラス | (5)歳児 (くじら)組 (男児: 10 名、女児: 12 名) 計(22)名 |
| 幼児の姿 (前日までの子どもの姿) | 6月に入り、クラスで落ち着いて過ごせるようになってきた。雨が降ったり止んだりするので、少しエネルギーを持って余している子も見られる。子ども同士でも協力する姿や、気がついたことを言葉にし、友達や保育者に自分の思いを伝える子どもが増えてきている。ルールや約束を守り、我慢することを生活の中でも学んでいる。 | | 保育活動 のねらい | ○ (運動課題に関するねらい) しっぽとりの運動あそびを通して、走ることの楽しさや気持ち良さを感じる。 ○ (社会性や協力性に関するねらい) ルールを守り、チームで力を合わせることや、工夫してたくさんとることを楽しんで行う。 |
| 準備物 | 新聞紙朝刊4日分 (20名分のしっぽ)・カラーガムテープ (赤・青・黄色、各1本)、製作見本のしっぽ、しっぽ回収用袋 (又はかご) | | | |
| 時間 | 環境構成 | 予想される幼児の活動 | 保育者の援助・配慮 | 助言・指導内容 |
| 10:00 (導入) 10分 | <p>〈集合〉遊戯室 〈活動の説明〉</p>  <p>出入口</p> <p>〈製作デモンストレーション〉</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の呼びかけに反応し、集合する。素早く反応する子やまだのんびりしている子がいる。 ・保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 ・製作デモンストレーションを集中して見る。「はやく作りたい、やってみたい!」というモチベーションが高まる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに聞こえるよう、大きな声ではっきりと呼びかけを行い、集合を促す。 ・子どもが期待感を持って取り組めるよう、これから行う活動の説明を簡潔に行う。(動物のしっぽについてのお話、手遊びなど) ・子どもの目の前で制作のデモンストレーションを行い、手順のイメージが持てるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集合の様子から子どもの体調や状況をみておくこと。 ・子どもが製作完成品のイメージをもてるように、製作見本のしっぽを準備しておく。 |
| 10:10 (展開) 15分 | <p>〈活動①〉 「しっぽ製作」</p>  <p>出入口</p> <p>※この活動を製作活動としてじっくり行いたい場合は、別の時間に設定してもよい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙をもらった子どもは、広い場所で床面をつかって新聞紙を丸め、ねじるところまでできたら保育者のところへ並び、カラーガムテープをもらう。 ・自分でできる子は、カラーガムテープを自分で巻く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明をきちんと聞くことができたことを確認し、子どもたちに材料となる新聞紙を配布する。 ・新聞紙を丸め、ねじる活動まで手指を使って自分でできるように声かけ・援助を行っていく。 ・しっぽの先の3色が見えているか確認しながら、製作が遅れている子どもへの気づきを促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・材料を配布するタイミングは、説明の後がよい。 ・早くできてしまった子どもたちの力を借りてもよい。 |

| | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|
| <p>10：25 (展開) 5分</p> | <p>〈活動②〉 「3色しっぽとり」 〈集合：ルール説明〉</p>  <p>出入口</p> | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自分のしっぽを持ち、得意げに遊んだりふざけたりする様子が見られる。 自分のしっぽの色を確認し、ルールをよく聞き、理解しようとする。 保育者の合図で、動き始め、一生懸命逃げたり追いかけたりする様子が見られる。 悔しがったり喜んだりして2回戦への意欲を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 大きくはっきりした声で、集合を促し、子どもが、ルール説明を聞く姿勢になるよう促す。 安全に活動ができるよう、しっぽの入れ方、走るエリア、ルールについて簡潔にわかりやすく説明する。 子どもたちの動きをみながら、ルールの理解度や活動度を把握し、短い時間で1回戦を終了する。 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉で説明する以前に、保育者はズボンの中にシャツをきちんと入れてしっぽをつけておき、お手本となっているとよい。 1回戦はルールの理解度を確認する練習とする。 |
| <p>15～20分</p> |  <p>出入口</p> | | <ul style="list-style-type: none"> 2回戦は、1回戦より少し長めに時間を取り、活動量を確保しながら、子どもたちが工夫して走る様子、友達と協力する様子などを見ておく。 | <ul style="list-style-type: none"> 2回戦は活動量を確保したり工夫したりして走る時間とする。 |
| <p>10：45 (まとめ)</p> | <p>〈集合〉 「活動のまとめ」</p>  <p>出入口</p> | <ul style="list-style-type: none"> しっぽを取った子、取られた子、それぞれの感情を持ちながら、それぞれが走る達成感をもって集合している。 またやってみいたいという期待感を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちからのフィードバックに応じて、一生懸命走っていた姿や、工夫して走っていたことを伝え、子ども一人ひとりが活動の振り返りに気持ちが向けられるようにする。 またしっぽとりを行いたいという子どもの期待に応え、次の活動につなげられるように話をする。 運動あそびの後は必ず手洗いうがいを行うことを伝え、保育室へ移動。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動のまとめでは、保育者が子どもの活動の様子についての「感想」やコツなどを伝えると有効である。評価にならないように気をつけよう。 |